

鉄研春の九州旅行

～みんな！人吉行こうよ！！DL乗ろうぜ！！～

路線研究課

はじめに

春休みに行われた鉄研旅行の様子を写真とともに述べていきたいと思います。毎回の鉄研旅行では、私たち部員が行程を立て、発案し、多数決で決めています。今回の春旅行（4日間）では私たち路線研究課が発案した案が採用されることとなりました。

今回のこの旅行の大まかな行程

1日目

東京→（東海道線）→三ノ宮→（バス）→神戸三宮 FT（宮崎カーフェリーで宮崎 FT へ）

2日目

宮崎 FT→（バス）→宮崎→（特急 きりしま）→都城→（吉都線）

→吉松→（快速 しんぺい）→人吉→（DL 快速人吉）→熊本（熊本で一泊）

3日目

1日自由行動熊本→小倉→（バス）→新門司 FT→（阪九フェリーで神戸 FT へ）

4日目

神戸 FT→（バス）→神戸→（JR 線）→名古屋→（東海道線）→小田原→（小田急線）→新宿

私たちの案に決まったが...

はじめ部会で発案した際の原案は、一日目に東京駅に集合し、快速ムーンライトながらに乗車する予定でした。しかし、人数分の指定席券をとることができなかつたために、東京駅から三ノ宮駅まで東海道線を乗り継ぐこととなりました。この快速ムーンライトながらは、指定席券（¥520）と乗車券（青春 18 きっぷで済ませる客が多い）で乗れ、夜中に東海道線を走り抜け大垣駅まで行けるということもあり、人気の列車です。そのため、旅行開始日の一か月前に取ろうとしてもなかなか難しいのです。

また、今回のように宿泊をする旅行では、旅行案を作る際に泊まるホテルも決めなくてはならないのです。そのため、インターネット等で空室状況を調べなくてはなりません。春休みだったこともあり、九州のほとんどのビジネスホテルが満室に近くっており、空いているホテルを探すのに苦労します。

それでは、九州への旅が始まります...

1 日目 ながーい東海道線 初の宮崎カーフェリー

4 日間にわたる長い旅が始まります。私たち部員は、東京駅に集合しました。顧問の先生から切符を受け取り、グループごとに青春 18 きっぷに人数分のハンコを押してもらいました。いよいよ旅の始まりです。三ノ宮まで揺られながら...

東京駅を発車した列車は見慣れた都会の景色を通り過ぎ、あっという間に小田原に到着しました。小田原を発車すると広大な太平洋が広がり、晴れていたためか遠くに初島も見えました。熱海に到着するとロングシート(泣)の 211 系に乗り換ええました。車内に入ると、混んでいて座れませんでした(泣)。私たちを乗せた列車は、熱海を出て早速函南トンネルに入りました。途中に見えた横を疾走している新幹線が羨ましくてなりません。駿河湾を間近に眺め、ゲームに熱中するとあっという間に興津に到着しました。次の列車はこの駅が始発であったため、下車しました。またロングシートの 211 系で残念でした。興津を出るとすぐに静岡に着き、都会の雰囲気でした。静岡を出ると、川幅の広い大井川を渡り、にわかには山深くなり、金谷に到着しました。付近には川根茶の茶畑が広がっていました。私は以前大井川鐵道に乗るときこの駅に降り立ったことがあります。そして金谷を出発し、新幹線も停車する掛川に到着しました。そして天竜川を渡り、浜松に到着しました。浜松を発車した列車は「赤電」で知られる、遠州鉄道を横目に浜名湖に差し掛かりました。右手には湖が広がり綺麗でした。そして距離が短いためか、すぐに豊橋に着きました。豊橋を出た列車は濃尾平野の田園の中を走り、名古屋に着きました。名古屋ではたくさんの人が降り、乗ってきました。久しぶりの大都会に東京を思い出しました。そして名古屋を発車し、しばらくすると都市の近郊の風景から離れて、田んぼや畑が増えてきました。そして尾張一宮、岐阜と数駅停車し、やがて大垣に着きました。私は、ムーンライトながらが発着するこの駅は何度も乗り降りしたことがあります。しかし、今回は切符が取れなかったためムーンライトながらが使えず、残念でした。

さて、車窓は大垣を発車すると、少しずつ山深くなっていきました。そして天下分け目の戦い「関ヶ原の戦い」で有名な関ヶ原を過ぎると、峠を越し滋賀県に入りました。そして数駅停車すると、米原駅に到着しました。米原駅も何回も乗り降りしている駅なので、慣れた動作で新快速に乗りました。ここからは JR 西日本管内です。そのため 313 系から 223 系へと乗る列車が変わりました。近江鐵道と並走し次の駅彦根に到着しました。琵琶湖を見ながら、大津、山科、京都などと停車し、あっという間に大阪に到着し、たくさんの人が乗り降りしました。大阪から三ノ宮まではすぐでした。三ノ宮からは連絡バスに乗りました。バスはぎゅうぎゅうでした。フェリー乗り場に着くと早速切符をもらい、船に乗り込みました。

313 系→



2日目 乗り換え、うまくやれ。

宮崎カーフェリーは定刻通りに到着しました。この後の予定では、宮崎駅まで連絡バスに乗り込んで、特急きりしまに乗り換える予定でした。しかし、宮崎港に到着して、連絡バス乗り場へと向かうと、長蛇の列ができていました。私たち部員全員は何とか乗車する事が出来ましたが、乗車できなかった客もいました。バスは10分程度遅れて発車しました。予定では、宮崎駅前のバス停に停車したのち、15分程度の余裕を持って乗り換えが出来るようになっていましたが、バス遅延の影響で、約4分で乗り換えをしなくてはならなかったのです。バス停車後、すぐに運賃を支払い、ホームへと全力で走りました(笑)。こちらが無理な計画を立ててしまったのも悪かったです。

その後何とか全員乗り換えに間に合い、特急きりしまに乗り換えて、都城へと向かいました。車両は787系で、初めて乗りました。網棚にカバーがついていて初めての感覚でした。車内は少し落ち着いた雰囲気、薄暗くもありました。1時間足らずの乗車なので畑を見ながら、すぐに都城につきました。

↓特急きりしま



都城到着後、吉都線に乗り換えました。都城は予想と違い、こじんまりとした駅でした。跨線橋を渡ると、そこに停車していたのは、キハ40系列の国鉄車両で、とてもうれしかったです。車内は青色のボックスシートで国鉄のマークの付いた扇風機があり、窓は開けられて、国鉄時代そのまま感動しました。列車はエンジン音をブルンと震わせ、都城をゆるゆると発車しました。私はせっかくなので窓を少し開けました。すると外の涼しい風が車内に入ってきて、清々しい気分になりました。小駅をいくつか停車するごとに乗客は増えて、こんなローカル線でもやっぱり乗客はいるのだなと思いました。山の麓の田園を見ながら小駅をはさんで、小林、えびの、など少し大きい駅を停車しました。やがて吉松駅に到着しました。

↓キハ40系列



吉松のホームに降り立つと、隣に赤色の列車が停車していました。乗ると木目調にデザインされた車内に驚きました。先ほど乗った同じキハ40系列なのにこんなにも変わるのかと思いました。そしてこの車両をデザインした水戸岡さんは改めてすごいなあと感じました。木製の席に座ると列車は発車し、車内アナウンスが流れました。パンフレットを見ると吉松は鹿児島県だったことが分かり、九州の最南端の県までできてしまったのかと驚きました。

↓しんぺいに使用された車両。車体の赤がよく目立ちます。



列車は高原を走りながらやがて真幸（まさき）駅に着きました。真幸駅には10分程度停車するという事だったので、私は列車から降りました。車内アナウンスによると真幸駅には駅名が「真の幸せ」と書くので、鳴らすと幸せになる「幸せの鐘」があるということでした。私は早速数回鳴らしました。その後線路の上から列車を撮影しました。駅舎は古く木造で、地元の方が様々なものを売っていました。この真幸駅のもう一つの見どころはスイッチバックです。列車は折り返し、線路を上りました。発車するときには地元の人が手を振ってくれました。

列車は日本三大車窓の場所で停車しました。とても景色の綺麗な場所で高い場所から高原を見下ろすような景色でした。また発車するとやがて、矢岳駅に着きました。矢岳駅でも長く停車するので、また列車から出ました。矢岳駅は「デゴイチ」で知られるD51型が展示されており、予想以上に大きかったです。またこの駅の駅舎も木造で古く、懐かしい雰囲気が感じられました。

記念撮影をする高校二年生→



列車に戻ってしばらくすると発車し、この路線のメインでもある、大畑駅周辺のループ線に差し掛かりました。大畑駅はスイッチバックとループ線が同時にある構造の駅で、どちらの構造とも高低差があるときに使われます。またこのような構造は全国でここに一つしかなく、大変珍しい構造の駅です。ループ線は意外にもループ線を走っているという感覚がなく、あっという間に駅に着いてしまいました。駅はちょうど桜が満開の時期で、さくら祭りが開かれていました。祭りでは地元の方が出店を開いていたり、ライブをしていたりと、とても賑やかでこちらの気持ちも晴れやかになりました。駅舎は木造で内部は名刺がずらりと貼ってありました。駅に名刺を貼ると出世できるそうです。そしていろいろ回った後、列車内に戻り発車しました。大畑を出てスイッチバックを経ると、もう人吉です。「あっという間に着いたなあ」ということと「意外とのんびりしていたなあ」ということを同時に思いました。この列車の旅は地元の方の温かい心も感じられました。とても楽しい列車の旅でした。

人吉に着くと1時間ほどの時間があり、鉄研全員で集合写真を撮りました。人吉駅も木造建築でした。このあたりの駅は木造の古い駅舎ばかりで、昔ながらの感じそのまま保存されていることはいいことだなと思いました。そして昼食を求めて駅弁屋さんに行っただですが、もう在庫がなく列車内で食べることにしました。明日の切符を窓口で買った後、どこへ行こうかと話し合いました。一人は人吉温泉に入りたいと言ったのですが、そんな余裕もないので、とりあえず駅からほど近いコンビニでおいしそうなパンを買い、駅のベンチで食べました。

食べ終わると、もう快速人吉が入線していました。快速人吉は本来SLなのですが、機関庫よりアスベストという有害物質が見つかったようでDLに変更となり、私は残念でした。列車に乗るとまたもや水戸岡デザインで、車内は落ち着いた空間で座席の周りや床、側面などは木製で、汽車の模型も飾ってありました。席に座るととてもフカフカでした。後方には展望スペースがあり、ディーゼル機関車の顔がよく見えました。列車は発車してしばらくすると、一勝地駅に着きました。この駅の入場券をかうと、駅名からわかるように勝負ごとに勝てるらしく、私も買いました。駅を出発すると、球磨川のエメラルドグリーンの水面が見えました。私はここからしばらくゲームをしました。気づいたころには八代駅についていました。八代駅を出ると田園風景から半円形のきれいな虹が見えました。私は綺麗だなあと思いました。やがて熊本駅に着くと、グループ行動で熊本名物とんこつラーメンを食べました。とてもおいしかったです。その後お土産を買い、市電に乗ってホテルに着きました。

快速人吉→



3日目 旅も折り返し

3日目はホテルを出て、熊本駅にて集合したのちに、小倉駅まで自由行動でした。私の班では、いきなり事件が発生します！なんと班員の半分が集合時間になっても来ないので。私は心配して、いない班員に電話しましたが応答はありませんでした。そして結局1時間ほど遅れて彼らは来ました…。その結果行こうと思っていた熊本電鉄に乗る時間が無くなってしまいました…。そして班員で話し合った結果 JR 九州の在来線に乗っていくことにしました。

熊本駅から鹿児島本線に乗車し、崇城大学前まで行き往復することにしました。崇城大学前駅はとてもこじんまりしていて駅から出ると県道 31 号線が横に広がっていました。駅は IC カードを使うことができました。

熊本駅に戻ってきて、ここからは熊本を離れ九州新幹線つばめ・ゆふいの森を使って由布院に向かいます。

新幹線ホームに行くと、つばめが停車していました。つばめの車内は椅子が柔らかくとても快適でした。久留米では乗り換え時間があまり無かったので、急いで在来線ホームに向かいました。無事、何事もなく由布院に着きました。ゆふいの森の車内は展望ができるよう、座席がとても高くビューフェなどがありました。外の景色はとても自然がきれいでした。由布院で食事をして、ここからバスで別府まで行きます。

別府駅から歩いて別府タワーまで行きました。別府タワーから見える景色はとても美しかったです。しかもトイレはシャワートイレでした。別府タワーからは近くの温泉まで歩いて行きました。温泉はとても温かくて気持ちよかったです。温泉から別府駅に戻りここからは小倉に特急ソニックで行きます。ソニックは小倉から運転方向が逆になるので驚きました。そして九州との別れが近づいています。

～部員がそれぞれ自由行動で乗った車両たち～



熊本市電 0800 形「COCORO」



西鉄 3000 形



813 系



415 系

小倉から門司に行く際に、バスが混むことを予想したのか、阪九フェリーの方が、私たち鉄研だけのために鉄研貸し切りのバスを用意していただきました。全員着席出来て、とても助かりました。

門司港到着後、ここからは阪九フェリーに乗って神戸港に行きます。ここで九州とはお別れです。

↓鉄研貸し切りのバス



(c)Teishaba On-line

4日目 旅が終わってしまう...

神戸港からはまた用意していただいた鉄研貸し切りのバスでアイランド北口駅まで行きました。

今日はこの後、名古屋駅まで自由行動でした。私たちは乗車しなかった近鉄線、阪急電車に乗車して、京都駅へと向かいました。途中、近鉄線の大和西大寺駅にて下車しました。この駅は、線路の配線が複雑なことで知られる駅で、私たち鉄道好きにとって、目を輝かせる駅でもあります。私たちは、駅の端で、線路ばかりを写真に収めていました。

京都駅に到着後は、名古屋駅まで東海道線を乗り継ぎ、名古屋では、味噌煮込みうどんを食べました。

乗車した阪急電車→



(c)Teishaba On-line

名古屋駅到着後は、東海道線で小田原まで乗車して、小田原から新宿駅まで小田急線のロマンスカーに乗車する行程でした。

東海道線の様子は割愛させていただきます。(笑)

小田原駅には 19 時頃に到着しました。久しぶりに東京の電車を見て、ああ帰ってきたんだなあと思いました。毎回恒例のロマンスカーに乗車しました。ロマンスな締めくくりでした。

↓小田急ロマンスカー



新宿駅到着後、私たちは無事に解散しました。長い4日間でした。

